

ふつさ 市議会だより

No.234 令和5年7月25日
発行/福生市議会

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042(551)1511(代表)
☎042(551)1523(直通)



Twitter



Facebook



▲新たな議会がスタート

令和5年第2回定例会
6月13日～6月30日

改選後の初定例会が行われました 子どもの医療費助成の拡充を求める意見書を提出

令和5年第2回定例会は、6月13日から6月30日まで会期18日間で開催されました。
条例の一部改正、補正予算など、市長提出議案18件、議員提出議案1件が審議されました。
また、18名の議員による一般質問が行われました。
市民等から提出のあった陳情1件は、継続審査となりました。

議員提出議案第1号 子どもの医療費助成の 拡充を求める意見書

令和5年度から東京都が実施している高校生等医療費助成事業により、都内全ての自治体において医療費無償化が18歳まで広げられ、子育て世帯にとっては経済的な負担が軽減される重要な取組であり、都の英断を評価するものである。
しかしながら、高校生等医療費助成制度については、所得制限と窓口での自己負担を設けた上で、制度開始から3年間は都が全額を負担するが、それ以降は市区町村が半額を負担する制度であるため、4年目の令和8年度からは各自自治体にとって重い負担が生じる仕組みとなっている。

この仕組みについて、23区でつくる特別区長会は昨年6月、当時の会長である山崎孝明江東区長が「東京都が提案した事業なので、都が財源を全て負担すべきだ」と述べ、現在、都と協議を続けている一方、東京都市長会においても同年7月、子育て支援を継続的に実施していくために、「高校生等医療費助成事業における財源負担の見直し」の要望書を都知事に提出しているところである。

福生市においては、都の当該事業に市が自主財源を上乗せし、所得制限なしで実施しているところだが、令和8年度以降は他の自治体と同様に、非常に重い負担となることから、福生市議会としても、子育て支援を継続的に実施していくために、高校生等医療費助成事業については事業を提案した都が責任を持って恒久的に全額を負担するべきと考える。
また、乳幼児医療費助成事業及び義務教育就学児医療費助成事業についても同様に、都の制度であるにもかかわらず、市にとって重い負担となっている。さらに、所得制限及び一部自己負担の設定について、制度あるいは自治体間で対応が異なっていることに起因して、市民にとって大変理解しにくいものとなっている。

よって、東京都においては、子どもの医療費助成事業（高校生等医療費助成事業及び乳幼児医療費助成事業並びに義務教育就学児医療費助成事業）について、次のとおり恒久的な財政支援を図ることを強く求める。

- 1 子どもの医療費助成事業の財源は、都において責任を持って恒久的に全額を負担すること。
- 2 高校生等医療費助成事業及び義務教育就学児医療費助成事業における所得制限や一部自己負担を撤廃し、子どもの医療費助成事業における完全無償化を都の全額負担により実現すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
(提出先 東京都知事)

◆ 会議の開催状況と審議日程 ◆

6日	議会運営委員会
13日	本会議1日目
14日	本会議2日目
15日	本会議3日目
16日	本会議4日目
20日	建設環境委員会
21日	市民厚生委員会
22日	総務文教委員会
23日	横田基地対策特別委員会
27日	議会運営委員会
30日	本会議5日目
7月	全員協議会
13日	議会運営委員会

● 主な内容 ●

- ◆ 一般質問 (要旨) …… 2～5面
- ◆ 議案の審議結果 …… 6面
- ◆ 可決等された案件 …… 6面
- ◆ 委員会の審査 …… 7面
- ◆ 特別委員会活動 …… 8面

一般質問(要旨) 「市政のここを問う」

今定例会では、18名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。

会議録は8月上旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。

また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。

※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。

▶福生市議会
ホームページ
(通告一覧へリンクします)



横田基地について



正和会
佐藤 弘治 議員



質問 防衛施設周辺放送受信事業の助成対象区域指定基準について、事業の制度及び見直しの概要を伺う。

市長 自衛隊や米軍のジェット航空機の離着陸等が頻繁な地域において、NHK受信料の地上放送分の半額相当を補助金として交付するもの。5月に北関東防衛局より「会計検査院から騒音の実態を踏まえた指定基準の見直し等、交付の透明性を十分

確保すべきとの指摘を受け、今後新たな基準を制定する」との説明を受けた。指定基準の見直しは、市民に大変大きな影響が考えられ、CV-22オスプレイの増備により今後さらに横田基地周辺の騒音が増加する懸念もあることから、防衛省に対し状況の十分な考慮を訴えていきたい。

自転車等の安全利用について

質問 本市の取り組みを伺う。

市長 令和5年4月より全自転車利用者へのヘルメット着用の努力義務化を受け、普及促進及び事故被害軽減のため購入費用を一部助成することとした。また、電動キックボードにおいて運転免許証の不要化等の規制緩和が予定されていることから、安全利用について関係機関と連携し、各種交通安全講習会等を通じルールやマナーの啓発を図りたい。



高校生等に対する経済的支援について



正和会
山崎 貴裕 議員



質問 高校生等に対する経済的支援の現状について伺う。

市長 国や都を中心に奨学金や高校授業料無償化等の制度が多数ある。また、18歳までを対象とする児童扶養手当のほか、高校生医療費助成が始まった。さらに、18歳までの子ども1人当たり月額5000円を支給する事業を都が実施予定で、支援が充実してきている。経済的な支援は国民

の生活を保障する国の役割であるというのが基本的な考え方であり、本市はこれら事業のサポートや、市の役割部分を積極的に推進していく。

幼保小連携のこれまでの成果及び課題等について

質問 これまでの成果や課題と、令和5年度の取り組みについて伺う。

教育長 3年間の取り組みの成果については、新1年生が小学校生活

を円滑に進めるためのスタートカリキュラムの内容改善と、幼稚園・保育園と小学校の交流活動を充実させたこと。課題については、この幼保小のつながりを持続可能にすることである。令和5年度は、参加している幼稚園・保育園への研究の委託やスタートカリキュラムのさらなる改善、「幼保小連携ガイドブック」を作成し、連携を一層推進する。



福生駅西口地区市街地再開発事業について



正和会
小林 貢 議員



質問 令和4年12月定例会で質問した際は、建築資材高騰の影響や補助金確保が難しく、スケジュール変更など、準備組合と協議を始めたとの回答だったが、現在の状況を伺う。

市長 組合とは令和4年10月に一度立ち止まる判断をし、検討してきたが、具体的なスケジュールは示せない状況。再開を支援、推進する考えは変わらないが、大きな公的資

金を投入するため、検討課題が多く、スケジュールが定まるまで時間が必要であることをご理解いただきたい。

市議会議員選挙等投票率向上への取組について

質問 4月の市議会議員選挙の投票率は45.75%で、前回は3.47ポイント下回った。これまでの投票率の分析や投票率向上対策について伺う。

選挙管理委員会事務局長 市議会

議員選挙では昭和34年の91.22%が最も高く、現在に近づくにつれ投票率が低くなるが、一方で期日前投票の利用者は増加傾向。投票率向上の取り組みとして、選挙人名簿に登録された18歳新有権者へのバースデーカードと啓発グッズ送付、コロナ禍で中断した駅頭啓発の再開、市ホームページでの若年層向け投票呼びかけ動画の公開等を実施している。



▲若者向け啓発動画「投票に行こう!-福生の未来のために-」より

福が生まれるまち、福生のまちづくりの推進について



正和会
石川 義郎 議員



質問 ウェルビーイングとは世界保健機関WHO憲章で、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも全てが満たされた状態という意味に定義づけられている。本市の第5期総合計画の大綱の中で、特に「豊かにする」にはウェルビーイングの考え方が多く含まれていると思うが、本市における基本的な考え方を伺う。

市長 ウェルビーイングは国や地

方自治体でも政策の立案等に活用され始めており、市民の生活の質や生きがいの向上を目指すという点では、本市のまちづくりに参考になる面がある。本市総合計画(第5期)の大綱の1つである「豊かにする」では、本市に関わる人の考え方や生活、それを取り巻く環境を多様化し、充実させ、日々の暮らしをより良いものにできるよう各種施策を講じている。

基本事業として「高齢者や障害者等の社会参加の促進」や「生涯学習の推進」、「スポーツ・レクリエーションの推進」等、市民の生活の質や生きがいの向上等に結びつく様々な取り組みを展開しており、これらはウェルビーイングの概念と多くの点で親和性を有すると考えられるため、引き続き総合計画に基づき、これらの取り組みをより一層充実させたい。



▲福生市総合計画第5期より(一部抜粋)

带状疱疹ワクチン接種費用助成について



公明党
川崎 善友 議員



▲児童発達支援センターの設置が予定されている福祉センター

質問 都は4月から50歳以上への带状疱疹ワクチン接種費用助成を行う区市町村に費用の半額を補助することとなった。ぜひ、本市もその制度を活用してほしいが、所見を伺う。

市長 令和5年度に入って福生市医師会から带状疱疹ワクチン接種費用助成の導入の要望書の提出があった。都の補助金の活用が可能になったことに併せて、要望等の機運が高

まってきたことから、本市も助成の実施について前向きに検討する。

児童発達支援センター設置について

質問 開設の時期や場所、規模、関係諸機関との連携等を伺う。

市長 様々な審議を踏まえ、総合的な観点から福祉センターの活用が最適と判断し、令和6年4月の開設を目指している。相談支援、児童発達支援、地域支援の3つを柱として、

児童や保護者に寄り添った支援を行うほか、地域における中核的な支援機関として、関連機関との連携づくりや援助、助言などの支援を行う。また保護者了解のもと、各関係機関と支援状況を共有し、切れ目のない支援につなげる。保育園や幼稚園、小・中学校等への訪問支援についても各関係機関や教育委員会と連絡を密に行い、運用してまいりたい。

自転車ヘルメットについて



公明党
原田 剛 議員



▲福生市特別支援教育プログラム

質問 6月の定例記者会見で発表された自転車ヘルメット購入費用助成について、本市の取り組みを伺う。

市長 市では今回の改正道路交通法施行前からヘルメットの購入費用助成について検討し、都や他市の状況を注視していた。4月以降も市民のヘルメット着用の普及が進んでいない状況か、着用率を高め、交通事故における被害軽減を図るために、

購入費用の一部助成について本定例に補正予算を上程した。

特別支援教育について

質問 令和5年3月に策定された福生市特別支援教育プログラムにおいて、専門性のある指導體制の整備がうたわれているが、所見を伺う。

教育長 児童・生徒一人一人の可能性を最大限に伸ばしていくためには、これまで設置してきた特別支援

学級等の教育環境を生かし、全ての教員の特別支援教育に対する理解を深め、専門性を高めることが重要。そのため教育委員会は、福生市特別支援教育プログラムを作成し、各学校のOJT等での活用を推奨してきた。今後とも、本市の多様な支援体制等を十分に活用するとともに、全教員の特別支援教育の専門性を高めるため、研修等の充実を図っていく。

部活動の地域移行について



正和会
清水 義朋 議員



質問 令和5年度より、休日の部活動の地域連携・地域移行が始まる。具体的には、土日や休日などの指導や大会引率を2025年度までに段階的に地域に移行し、いずれは全ての地域に移行していく流れである。本市がどのように取り組んでいくか伺う。

教育長 福生市教育委員会では、東京都教育委員会が令和5年3月に策定した「学校部活動及び地域クラ

ブ活動に関する総合的なガイドライン」及び「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」を踏まえ、部活動の在り方についての検討を加速させていく。具体的には、令和における福生市立学校の在り方検討委員会において、検討テーマの一つに、部活動地域連携・地域移行を位置づけ、各校長や地域の皆様からご意見をいただく予定。また、部活

動の地域連携・地域移行に関する検討委員会を教育部に設置し、本市における部活動の地域連携・地域移行の可能性や在り方について検討を進めるため、令和5年度は中学校長や関係部署との情報共有を図る連絡会を開催する。今後、国が示した令和7年度までの改革推進期間の中で、本市における部活動の地域連携・地域移行の方向性をまとめていく。

おむつの無料定期便について



日本維新の会
西尾 壽々斗 議員



質問 おむつの無料定期便を導入している自治体が増えてきている。単におむつ代の補助だけでなく、職員がご自宅を訪問して子育ての悩みや困り事などの相談を受ける意味もあるそうで、訪問を通じて虐待の発見にもつながる政策と理解している。子育て支援政策のさらなる拡充が必要と考えるが、市の所見を伺う。

市長 おむつの無料定期便につい

ては、子育てに関する相談を受ける機会をつくる手法の一つであると認識しているが、本市においては、現在実施している専門職による子育て支援をしっかりと継続していくことが重要であると考えている。本市では、妊娠届出時に行うプレママ面談、妊娠8か月を目安に行うアンケートや保健センターでの面談、赤ちゃんが生まれた全てのご家庭への訪問を

実施するなど、全ての対応に保健師、助産師等の有資格者が当たり、専門的な知識と経験を生かし、必要に応じて適切な時期に関係機関と連携した支援を行うことで、安心して出産、子育てができるよう対応している。今後については本市の状況に合い、効果的な施策となり得るものがあるか、他自治体の動向も引き続き注視していきたい。

ICT教育について



生活者ネットワーク
三原 智子 議員



質問 一人1台端末によることでの健康被害の防止、情報モラルを含む活用能力の習得、家庭学習等での使用やルールづくりについて、現状と課題を伺う。

教育長 長時間使用による健康被害防止の観点から、全児童・生徒の端末の使用状況等を毎月把握し、過度な使用が認められる児童・生徒に対しては個別の指導を行っているが、

一部の児童・生徒については継続的に指導しても改善されない状況がある。そのため、市教育委員会では、校長会と協議を重ね、令和5年4月からiPadのインターネットアクセスを午後10時から午前5時まで制限する取り組みを行っている。情報モラルを含む情報活用能力の習得では、各学校の実践事例を収集、好事例を共有し、児童・生徒が情報モラ

ルに関する学習サイトにアクセスできるようにする等、教員が指導しやすい環境整備に努めている。家庭学習等でのiPadの使用は、アナログ教材とデジタル教材を適宜組み合わせた家庭学習を実施。また、家庭の使用ルールは、児童・生徒と保護者が話し合っ決めてほしい。課題は、ルールの必要性を保護者に啓発することである。

福生市消防団について



正和会
幡垣 正生 議員



質問 消防団活動の現状と今後の課題について伺う。

市長 消防団活動として、火災での消火活動や台風接近時の警戒のほか、ポンプ操法審査会に向けた訓練や日頃の機関訓練、また、消防訓練所での各種研修の受講、さらには各町会でやる防災訓練や応急救護講習会での指導を行っている。課題である団員確保については、処遇改善、

PR動画の作成等を支援しているが、今後も消防団と意見交換を行い、団員確保に取り組んでいく。

公園の現状と今後の課題について

質問 公園の現状と今後の課題について伺う。

市長 本市では、公園維持管理計画の策定作業を令和4年度から5年度にかけて進めている。令和4年度は、公園の現状整理や分析、現地での

実態調査のほか、無作為に抽出した18歳以上の市民や市内小学校5年生、公園ボランティアにご登録いただいている団体や個人、実際に公園を利用している方などを対象にしたアンケートによる意見聴取を行い、現在はこれらの実態調査や市民アンケートから得た情報を基礎資料として課題を抽出し、公園整備の方向性と基本方針の検討を進めている。



▲ポンプ操法審査会の様子

避難所等について



正和会
森田 哲哉 議員



質問 台風等で避難指示が出された際、避難所にたどり着けない市民をつくらないための市の対応を伺う。

市長 本市では、東京都災害情報システム(D I S)等を活用し、災害対策本部や各避難所で情報を共有することで、仮に避難所がいっぱいでも、空きがある避難所へ案内できるようにしたほか、体育館が満員になった際に教室を避難スペースとして

有効活用する優先順位の設定等を行うなど、体制を整えている。

一時避難場所としてのみずくらいど公園及び日光橋公園について

質問 みずくらいど公園、日光橋公園設置の装備品を使用しての避難訓練実施を希望する声を耳にする。自主防災組織や希望者等を対象に総合防災訓練の一環としての実施が必要と考えるが、市の所見を伺う。

市長 本市では災害等に対応するため、初動活動体制の確認と、指定避難所の開設に重きを置いて総合防災訓練を実施している。今後は自主防災組織などの関係機関と意見交換を重ねた上でより実効性のあるものとなるよう充実に努めていくが、地域の皆様には日頃の防災訓練等でも、みずくらいど公園と日光橋公園の防災設備を活用していただきたい。



▲みずくらいど公園の防災設備

感染症への対応について



正和会
小澤 芳輝 議員



質問 予防接種法に基づく感染症に対する定期接種の現状と対応について伺う。

市長 現在A類疾病として14種類、B類疾病として2種類の計16種類の定期接種を行っている。BCGの定期接種は保健センターで集団接種を、その他の定期接種は各医療機関で個別接種を実施している。BCG集団接種については、新型コロナウイルス

感染症への対応として、令和2年6月より実施回数と定員を細分化し3密を回避して進め、現在はコロナ禍前と同様の月1回の接種に戻している。接種率について大きな影響はなく、市ホームページ等でコロナ禍であっても予定どおり接種を受けるように勧めた結果だと考えている。今後も接種希望者が速やかに定期接種を受けられるよう関係機関等と連

携して定期接種実施に努めていく。

質問 接種率に影響はないとのことだが、新型コロナウイルス感染症のために接種できなかった方がいたのか等、予防接種ごとの変化を伺う。

福祉保健部参事 新型コロナウイルス感染症の影響の有無を含めて、個々の事情は把握していない。小児の予防接種全体の接種率に大きな変化はなかった。



特定不妊治療の助成について



正和会
仲間 正司 議員



質問 1回当たりの平均費用は体外受精が38万円、顕微授精が43万円と、高額な費用が支障となり、子どもを授かること自体を諦める人がいることで、少子化が進むと考えられる。令和4年4月より特定不妊治療が公的医療保険の適用対象となり、自己負担が3割になったことで、金銭的なハードルは大幅に低くなったが、自己負担を減らすための補助を

することはできないか。また、公的医療保険の適用外でも有効な治療があると思われるが、これについて補助を行うことを考えているか。市の所見を伺う。

市長 体外受精及び顕微授精等の特定不妊治療に対し、市では利用者の経済的負担軽減のため、平成31年4月より東京都の特定不妊治療費助成事業の承認通知を受けている方を

対象に、市独自の特定不妊治療費助成事業を実施してきた。保険適用により受付は終了し、現在は経過措置として申請時の助成を行っている。保険適用後の助成について、現状では、保険適用後の助成を既に実施しているのは東京都26市中4市となっている。今後、当市においても、特定不妊治療助成の実施に向けて検討してまいりたい。



がん対策について



公明党
堀 雄一郎 議員



質問 がん検診受診率の目標について、国は胃、肺、大腸、乳、子宮頸部の五つのがんについて検診受診率60%を目指すとしているが、本市のがん検診の受診率の推移と今後の取り組みについて伺う。

市長 がん検診受診率の目標について、平成24年度から令和3年度までの10年間では、がん検診推進事業の対象年齢が変更されたため、上昇、

下降が見られるが、令和3年度からは復調傾向にある。がん検診を受けることの重要性など事業のPRに努めるとともに、事業の実施方法についても検証を行い、引き続き受診率向上に努める。

自転車駐車場の設備改修等について

質問 市の自転車駐車場は設備の老朽化が進み、開設時と利用状況も変化している。原付等の駐車スパー

スを拡大したり、もっと余裕を持って利用できる駐車場に改良をという声もあるが、自転車駐車場の設備改修について、市の所見を伺う。

市長 市が管理する自転車駐車場8か所について、経年劣化や不具合が目立ち始めている。今後、自転車駐車場を改修する際は利用者の意見も参考にし、現状に即した自転車駐車場の整備に取り組んでいく。



▲拝島駅北口自転車駐車場

インクルーシブな公園の整備について



公明党
青木 健 議員



▲東京都「だれもが遊べる児童遊具広場」整備のガイドラインより

質問 インクルーシブとは、包摂的な、包み込むようなという意味の言葉で、SDGsが掲げる17の目標の中にも多く使用されている。近年、この理念に基づいたインクルーシブな公園の整備が進んでおり、東京都では「だれもが遊べる児童遊具広場」整備のガイドラインを作り、障害の有無にかかわらず子供たちが安全に遊ぶことができる遊び場の整備

に取り組んでいる。インクルーシブな公園は、本市の掲げる「人を育み夢を育む 未来につながるまちふっさ」を象徴する新たなランドマークとなり得るものと考えているが、本市におけるインクルーシブな公園の整備について、市の所見を伺う。

市長 インクルーシブな公園の整備は、障害の有無や年齢、性別にかかわらず、多種多様な方が公園を利

用するために大切なことと認識している。市では公園に限らず、全ての人に優しい施設の整備やバリアフリー化の促進について理解し、協力を惜しまない社会の実現を目指し、福生市バリアフリー推進計画を策定している。他自治体のインクルーシブな公園の整備や利用状況、導入への課題等を調査し、今後の整備に取り入れられるか引き続き研究していく。

米軍横田基地について



日本共産党
市毛 雅大 議員



▲C-12(YOKOTAJOHOのブログその2より)

質問 横田基地所属C-12の部品遺失について、4月19日付の情報提供においての経緯や市の対応を伺う。

市長 4月19日の防衛省北関東防衛局からの情報提供では、横田基地所属C-12の飛行後点検で、約10インチ×約4インチ、重さ約2ポンドの翼端ライトレンズが紛失していることが判明。部品が機体から分離した具体的な場所は不明、時期は令和

5年4月18日午前9時26分から午前11時34分までのこと。この情報提供に対し、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会から米軍に対して、原因究明や再発防止を図ること等を要請し、国に対しても米軍へ申し入れるよう要請を行った。

多摩地域の有機フッ素化合物(PFAS)汚染問題について

質問 都が5月23日に行った「有

機フッ素化合物対策の推進に関する緊急要望」について市の所見を伺う。

市長 人・環境への影響から対策までを盛り込んだ内容で、市としては都が国に対して緊急要望を行ったことを評価する。また、都内26市で組織する東京都市環境・公害事務連絡協議会から都市長会を通じて都へ要望等を行っており、我々の行動が今回の緊急要望に繋がったと考える。

子どもの人権を守る学校給食費無償化について



日本共産党
伊藤 広美 議員



質問 子どもの貧困を救い、人権を守るためには学校給食費無償化が必要だと考えるが、市の考えを伺う。

教育長 学校給食費は学校給食法で保護者の負担とすると明記されている。市教育委員会として、現時点では無償化は自治体独自ではなく、国等に対応すべきものと考えている。

質問 給食費の支払いができないと知ったときに、子どもはどう思

か。改めて市の考えを伺う。

教育部長 経済的な支援が必要な家庭には就学援助制度等による給食費の公費負担があるため、本市の児童・生徒は全員が給食を当然に食することができる。また、給食費を滞納している家庭に対して、保護者宛ての催告書の送付や臨戸訪問などを実施する際も、あくまで保護者を対象として、児童・生徒に影響が

及ばないように十分に配慮している。

質問 給食費を滞納している家庭には催告書を郵送することで、子どもに配慮していることは十分に評価できるが、1人残らず人権を守るということであれば不十分と考える。令和3年度決算における滞納世帯数、児童・生徒数を伺う。

教育部長 給食費未納の世帯数は77世帯、児童・生徒数は94人である。

福生市の交通安全の取組について



立憲民主党
市川 佳樹 議員



▲牛浜駅での自転車マナーアップキャンペーンの様子

質問 本市では定期的に交通安全活動が行われているが、地域に対する取り組みや全体の概要、地域の方々への働きかけについて伺う。

市長 第2次福生市交通安全計画等に基づき、ソフトとハードの両面から様々な取り組みを展開している。ソフト面では、春と秋の年2回の全国交通安全運動における交通安全推進委員会と町会・自治会による交通

安全テントの設置や、小・中学校での交通安全教室など交通安全教育への取り組み、駅前などでの自転車マナーアップキャンペーンの実施など、様々な交通安全啓発活動を推進している。ハード面ではカーブミラー、ガードレール等の設置や区画線の引き直し、車両のスピード抑制のための路面標示等、市道上における危険箇所の解消に努めている。

質問 銀座通りで外国人と思われる車が逆走しているのが散見される。一方通行違反の対策を伺う。

都市建設部長 交通規制に関わる案件は警察の管轄となるが、具体的な場所、状況等ご相談をいただきながら、福生警察署に対し道路標識等に不備があれば改善を、また常習的に逆走が行われる場所があれば取締りを行っていただくなど要望したい。

ご利用ください! 福生市議会インターネット中継



パソコンのほか、スマートフォン、タブレット端末でも視聴いただけます。議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じいただけます。ぜひご利用ください。



福生市議会
インターネット
中継

◆配信内容 本会議のライブ映像と録画映像

◆利用方法 福生市公式ホームページ「福生市議会」→「インターネット中継」よりアクセス

SNS

写真等も掲載しながら、見やすく、わかりやすい議会情報をお届けしています。

で市議会の情報を発信しています!

twitter

Facebook

議案の審議結果 (○賛成 ×反対)

録画映像をご覧ください



議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	生活者ネットワーク	立憲民主党	日本維新の会	議決結果
市長提出議案								
議案第29号	福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第30号	福生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第31号	福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第32号	福生市中小企業振興資金融資条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第33号	令和5年度福生市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決
議案第34号	中央図書館改良工事(建築)請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第35号	中央図書館改良工事(空調設備)請負契約の変更について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第36号	福生市表彰条例に基づく自治功勞表彰について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第37号	福生市表彰条例に基づく自治功勞表彰について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第38号	福生市表彰条例に基づく一般表彰について	○	○	○	○	○	○	同意
議案第39号	市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第40号~46号	福生市農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議案								
議員提出議案第1号	子どもの医療費助成の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	可決

可決等された案件(要旨)

●福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例
道路交通法の一部改正に伴い、三輪以上の原動機付自転車に係る種別割の税率に関する規定を整備するため、条例を改正するもの。

●福生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
こども家庭庁設置法の施行により、関連する所掌事務が厚生労働省からこども家庭庁へ移管されることや、子ども・子育て支援法をはじめとする関係法令の一部が改正されたことに伴い、引用する規定を整理するため、条例を改正するもの。

●福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
こども家庭庁設置法の施行により、所掌事務が厚生労働省からこども家庭庁へ移管されたことに伴い、国の基準を引用する規定を整理するため、条例を改正するもの。

●福生市中小企業振興資金融資条例の一部を改正する条例
新型コロナウイルス感染症の流行により影響を受けている市内事業者に

対し、中小企業振興資金融資事業の融資の限度額及び償還における据え置き期間を変更する特例措置を、緊急事態宣言が発令された令和2年4月7日より実施、事業維持のための支援をしてきたが、国や東京都等の各種融資制度における優遇措置においても順次終了となっている状況と、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが第5類へ移行したことを踏まえ、本特例措置を削除するため、条例を改正するもの。

●令和5年度福生市一般会計補正予算(第3号)
物価高騰対策として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用したプレミアム付商品券事業、シニアお買物券配布事業などのほか、児童発達支援センター設置に伴う施設整備工事などを実施するに当たり、歳入歳出予算の総額に7億7326万4千円を追加し、288億8210万4千円とするもの。主な歳入は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの国庫補助金3億5683万3千円のほか、物価高騰対策事業などを実施するに当たり、一般財源の不足を補うため、財政調整基金繰入金3億8千万円を繰り入れるもの。歳出では、社会福祉費が、住民税非課税世帯に對して1世帯当たり3万円を支給する住民税非課税世帯物価高騰支援給付金給付事業や、高齢者の家計支援のため1人1万円の商品券を配布するシニアお買物券配布事業等で、5億6557万5千円。また、商工費は、物価高騰対策として地域経済の活性化と消費喚起を促すためのプレミアム付商品券事業等で、1億1445万7千円などとするもの。

●中央図書館改良工事(建築)請負契約の変更について
同工事の契約について、インフレスライド条項の適用に伴う契約金額の変更及び設計変更に伴う契約金額を変更するため、条例の規定により議会の同意を得るもの。

●中央図書館改良工事(空調設備)請負契約の変更について
同工事の契約について、インフレスライド条項の適用に伴う契約金額の変更及び空調設備の機器調達の遅れに伴う工期の変更をするため、条例の規定により議会の同意を得るもの。

●福生市表彰条例に基づく自治功勞表彰について
市議会議員として、20年の長きにわたり市の発展に貢献された田金八氏を自治功勞表彰するもの。

●福生市表彰条例に基づく自治功勞表彰について
市議会議員として、12年の長きにわたり市の発展に貢献された池田公三氏を自治功勞表彰するもの。

●福生市表彰条例に基づく一般表彰について
教育委員会委員として貢献された坂本和良氏、町会長、自治会長として貢献された関根孝明氏、社会教育委員として貢献された野村亮氏、学校給食センター運営審議会委員として貢献された小出宏氏、国民健康保険運営協議会委員として貢献された高橋エツ子氏、澤口賢一氏、社会福祉協力委員として貢献された竹島芳子氏、板寺正行氏、横田昭子氏、那須和美氏、小野チヨ子氏、田村誠一郎氏、地域福祉推進委員会委員として貢献された島田雅由氏、学校医として貢献された津村豊明氏、交通安全推進委員会委員として貢献された細谷禎治氏、小池武美氏、情報公開審査会委員及び個人情報保護審議会委員として貢献された福岡謙二氏、明るい選挙推進委員として貢献された和泉進二氏、学校歯科医、市立保育園

嘱託歯科医及び国民健康保険運営協議会委員として貢献された大浦邦夫氏、消防団員として貢献された若林明美氏を一般表彰するもの。

●市道路線の廃止について
民有地の敷地の一部で一般の交通の用に供されておらず、市道として機能していない市道216号線を廃止するもの。

●福生市農業委員会委員の任命について
福生市農業委員会委員として、木下義彦氏、野崎賢吾氏、野島章氏、古谷清一氏、細谷善道氏、村野正氏、吉澤英治氏の7名を任命することに同意するもの。



▲福生市表彰式で表彰された方々

特別委員会活動から

横田基地対策 特別委員会

6月23日に委員会が開催され、5件の議題について審査しました。

1 令和4年度防衛補助事業等実施状況について

障害防止工事補助事業は、小中学校の防音機能復旧(復機)事業、下水道事業会計の雨水管渠更生事業など6事業を実施し、補助額は4億7964万5千円。

民生安定施設整備補助金事業は、防災行政無線(移動系)施設改良事業など5事業を実施し、補助額は、2億6622万8千円。

特定防衛施設周辺整備調整交付金事業は、交付金全額6億4217万3千円の全額を防災食育センター維持管理等委託事業など5事業の基金に積み立てた。

2 令和6年度防衛補助事業概要要望について

令和6年度防衛補助事業概要要望では、小中学校の防音機能復旧(復機)事業、下水道事業会計の雨水管渠更生事業、福生駅周辺拠点整備事業など8事業を要望し、要望額の合計は、令和6年度国庫債務負担行為も含め6億553万4千円を見込む。

3 横田基地周辺対策等要望事項(案)について

例年実施している防衛省本省及び北関東防衛局への要請行動は8月2日に正副議長及び委員全員で実施する。

要望内容については、基地周辺対策の充実、騒音防止対策の推進、CV-22オスプレイに関する事項について、基地外における軍人等の法遵守・マナーの向上について、地元産業活性化の促進について、基地の運用に伴う安全確保の徹底について、また、市が要望している令和6年度防衛補助事業の要望の採択など14項目。



▲日米友好祭の様子

4 横田基地日米友好祭について

令和5年5月20日と21日の両日開催された。来場者数は19万3千人。内容としては、米軍や自衛隊等の航空機の展示では、24機種の地上展示また、自由降下及び空挺

降下の展示、花火の打ち上げなどが実施された。市の対応としては、国

及び米軍に対し基地周辺住民の平穏な生活のための安全対策、騒音対策について要請を行った。

5 横田基地に関する情報等について

5月9日から19日の間、硫黄島で実施される、空母ロナルド・レーガン艦載機の着陸訓練について、天候又は不測の事態により、硫黄島における所要の訓練を実施できない場合に訓練を実施する飛行場の一つに横田基地が指定されたことから訓練を実施しないよう要請した。6月15日、横田基地内で安全上の脅威に係る報告があり、憲兵中隊が爆破予告に対応し、避難を勧告した。捜索の結果、基地関係者や施設に対する脅威はなく米空軍特別捜査局が日本の警察機関と協力し調査中である、との情報提供があった。

6月15日の日米合同委員会合意の内容について、日本政府が実施している在日合衆国軍施設・区域の整備に関し、令和5年度から実施する全国の在日米軍基地等に関する事業のうち横田飛行場関連のものは、倉庫(給油機)及び整備用格納庫の建設並びに消防署の設計との報告があった。

議員表彰

全国市議会議長会では、議長及び議員として多年にわたり地方自治に功績のあった方を表彰しています。

令和5年度においては、2名の議員が表彰されました。

議長4年 清水 義朋 議員

議員15年 武藤 政義 議員

次回定例会【令和5年第3回】のお知らせ(予定)

日	月	火	水	木	金	土
9/3	4	5 一般質問 本会議 午前10時開会	6 一般質問	7 一般質問	8 一般質問	9
10	11	12 決算審査 特別委員会 午前10時開会	13	14	15	16
17	18 敬老の日	19 常任委員会 午前10時開会	20	21	22	23 秋分の日
24	25	26 議会運営 委員会 午前10時開会	27	28	29 本会議 午前10時開会	30

会期：令和5年9月5日～9月29日

※会期中に特別委員会が開催される予定です。

※日程は変更になることがあります。

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデイジー方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いで、ご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局 ☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークでも本会議の生中継を放映します。ぜひご覧ください。

編集後記

議員改選後、初の定例会となりました。5名の新人議員も加わり、新体制での議会がスタートしました。議長を除く18名から市政を問う一般質問も行われ、活発な議会となりました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが、新型インフルエンザ感染症(2類相当)から5類感染症へ移行され、初の定例会となりました。

議員側、理事者側の全ての席に設置されていた飛沫防止パネルも撤去し、開放感を感じながら議事が進行されました。

主な議案では、令和5年度福生市一般会計補正予算が上程され、「プレミアム付商品券事業」も可決されました。これは物価高騰の影響を鑑み、事業者及び市民生活に対する支援として3年連続の販売となりますが、市の経済にとって活力となることと思えます。

さて、7月8日、9日の2日間ではありましたが、4年ぶりとなる「福生七夕まつり」が開催されました。日程短縮での開催となったため、みこし・山車パレードや民謡パレードといった伝統プログラムは未開催でした。来年以降に期待します。